

(専門分野)

授業科目	診療に伴う技術 I	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.診察と検査の意義、目的を理解し、診察・検査・処置をうける対象への看護技術を習得する。				時間数
					30
					学年
					1
					時期
					第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1~3	診療の補助技術と看護師の役割	1.診察時の看護 2.検査時の看護		講義	教員
	検体検査時の看護	1.検体検査(尿・血液・痰・胸水・腹水・髄液検査) 1)検体検査時における看護師の役割 2)検体検査の援助		講義	教員
4		3.ホルダー採血(真空採血)法による静脈血採血		演習	教員
5~6	生体検査時の看護	1.生体検査(心電図・X線撮影・超音波・CT・MRI・内視鏡・核医学) 1)生体検査時における看護師の役割 2)生体検査の援助 2.穿刺・洗浄時の看護 1)穿刺時の看護 (1)胸腔穿刺 (2)腹腔穿刺 (3)腰椎穿刺 (4)骨髄穿刺 2)洗浄時の看護 (1)胃洗浄		講義	教員
7	救急法と看護	1.救命救急技術 1)救急対応とは 2)心肺蘇生法 3)止血法 4)院内急変時の対応		講義	教員
8	創傷管理	1.創傷の治癒過程と影響因子 2.創の種類 3.ドレッシング材の種類と特徴 4.包帯法		講義	看護師
9		5.褥瘡予防 1)褥瘡の定義 2)アセスメント 3)褥瘡予防のケア、褥瘡のケア		講義	
10	呼吸を整える看護	1.酸素療法の基礎知識 2.酸素療法時の看護		講義	教員
11		3.排痰ケア 1)体位ドレナージ 2)咳嗽介助、ハフィング 3)吸引時の看護		講義	教員
12~13		4.酸素療法、吸引時の看護		演習	教員
14	ME 機器の原理と看護の役割	1.輸液ポンプ・シリンジポンプ 3.パルスオキシメーター	2.心電図 4.人工呼吸器	講義	臨床工学 技士
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ			
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学[4]臨床看護総論 看護技術がみえる vol.①基礎看護技術 看護技術がみえる vol.②臨床看護技術		

